

後悔だらけの

NTR 記録

REC

妻を

巨

の親友に
差し出した

ました

Red.D





くそっ……



くっ……
んっん

ははは
おかしいな？



あれ……？



くそお……
何でだよおっ



落ちて着け
落ちて着け

すぐに
入れてみせるさ……
入りさえすれば
いいんだ

いいや
大丈夫！

あなた……



きつと
疲れているのよ



……あなた
もう今日は
休みましょう



.....っ

だから大丈夫よ.....

ええわかってるわありがとう



.....っ
.....ごめんでも僕は佳代子を愛しているんだ.....

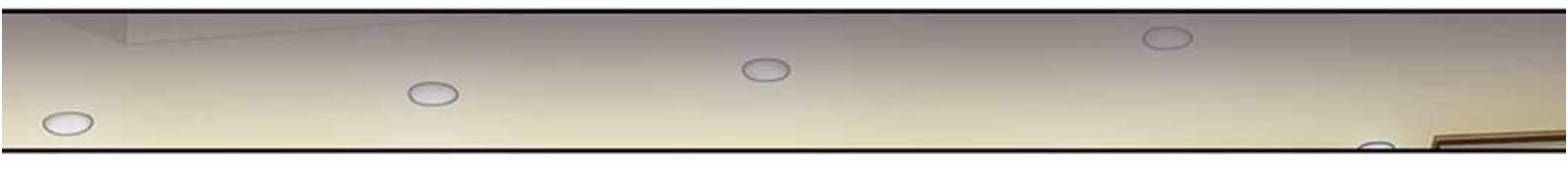
この気持ちは嘘じゃないからっ



さあもう寝ましょう
また今度...ね?

ああ.....

くそう
何とかしなければ
でも...どうすれば
いいんだ.....



いつからだろう
妻の裸体を前にして
殆ど反応しなく
なってしまったのは

はあ

結婚生活が始まり
はや十年
順風満帆な日々を
過ごしていたはず
だったが

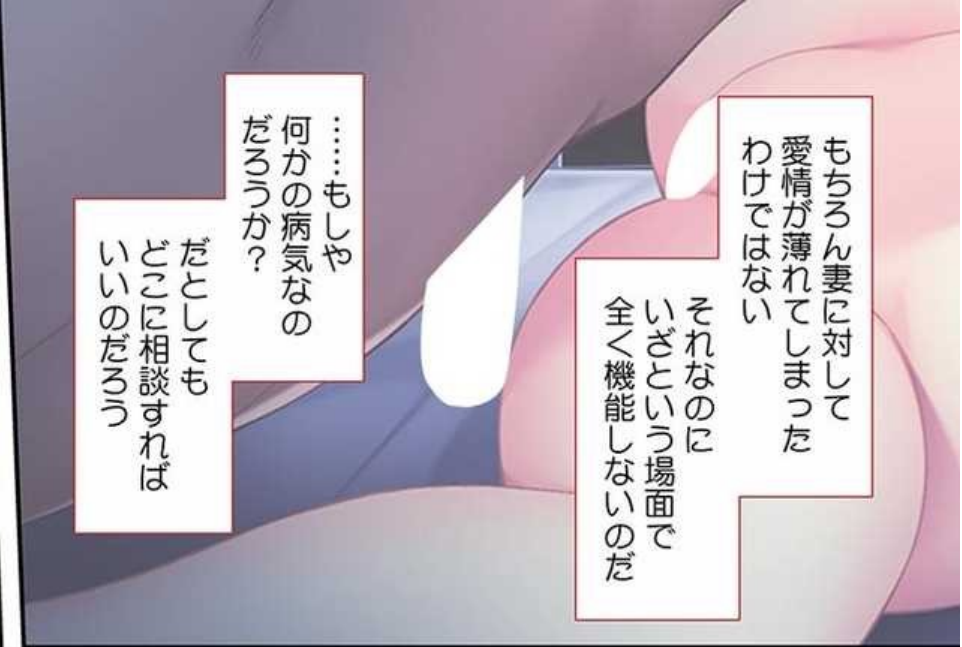
それだけが
大きな悩みだった



ばい

おいどうした?
急に変な声出して

あああつ……
もうっ!!

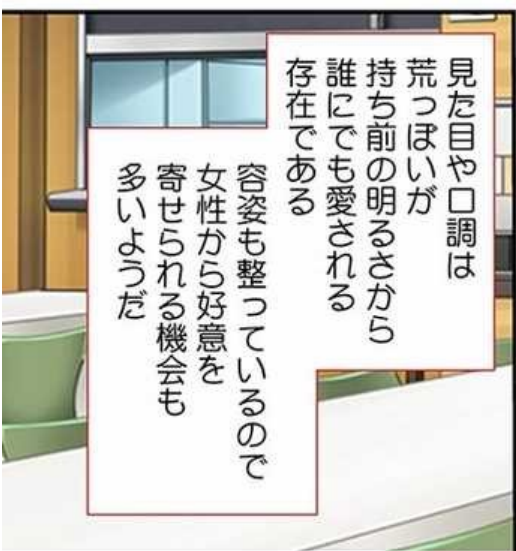


もちろん妻に対して
愛情が薄れてしまった
わけではない

それなのに
いざという場面で
全く機能しないのだ

……もしかや
何かの病気なの
だろうか?

だとしても
どこに相談すれば
いいのだろう



見た目や口調は
荒っぽいが
持ち前の明るさから
誰にでも愛される
存在である

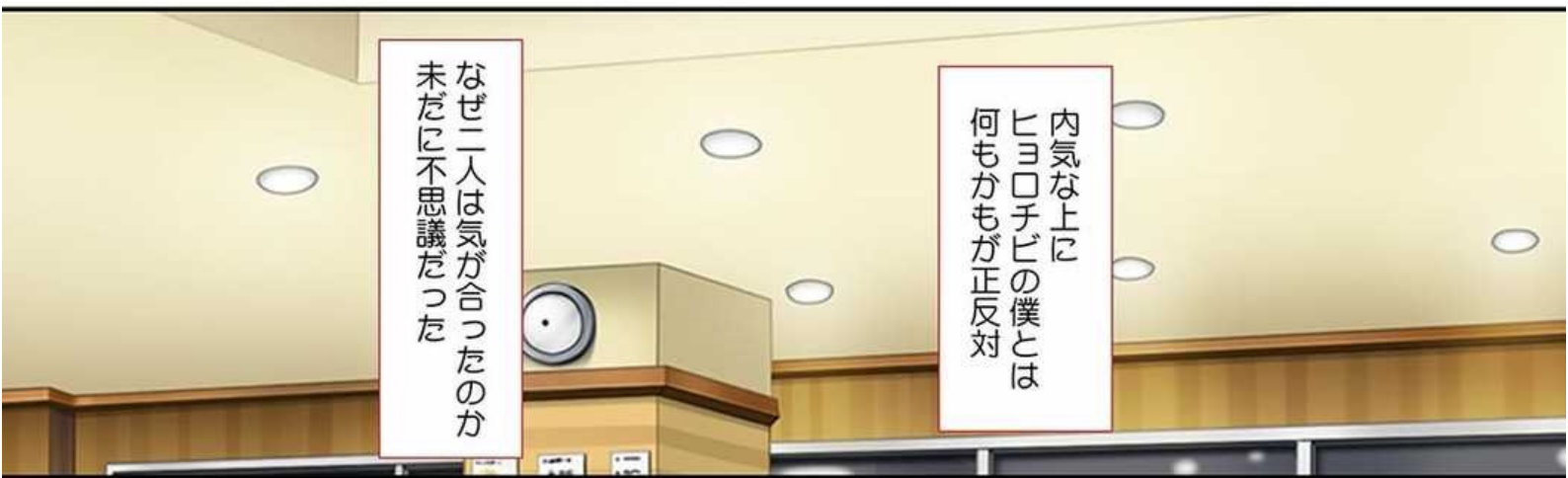
容姿も整っているので
女性から好意を
寄せられる機会も
多いようだ



悪目立ちしてんぞ
直太郎

うおっ!?!
な…なんだ司か

道邦 司は
学生時代からの旧友だ
今は僕の仕事場と
同じビルにあるジムで
インストラクターを
やっている



内気な上に
ヒョロチビの僕とは
何もかもが正反対

なぜ二人は気が合ったのか
未だに不思議だった



にしても……
何か思い悩んで
いるのか?
俺で良ければ
相談に乗るぜ

でも司なら
何か解決のヒントを
くれるかもしれない



ふむ…
なるほどなあ…

事情は理解したが
こればかりは
当事者同士の問題
だからなあ

俺がどうこうできる
話ではなさそうだ
悪いな

……そ
そうか



おいおい
そんなに
しよげんなって

俺は医者でも
カウンセラーでも
ねーんだからよお

ちゃんと解決したいんなら
泌尿器科辺りに
相談すべきだろうなあ

まあ……
そうだよな

……おお
これは想像以上に
重症みたいだなあ…

うーむ

……解決策になるかは
わからないが
一つだけ方法を知ってるぜ



え……
ほ…本当か……ッ!?

なあ……是非
その方法を教えてくれっ!

僕たち昔からの
仲じゃないかっ!

わ…わかった
わかったからっ!

もうちよい
静かにしろって!
みんなに
見られてんぞ…!

あっ!?
ああ……ごめん
つい



だ…大丈夫っ！
時には荒療治って
必要だろっ！



言っとくけど
効果があるかどうかは
わかんねーぞ
あくまで可能性の
話だからな

それにこの方法は
精神的に相当クるし
あまりにもリスクだ
それでも……
問題ないのか？



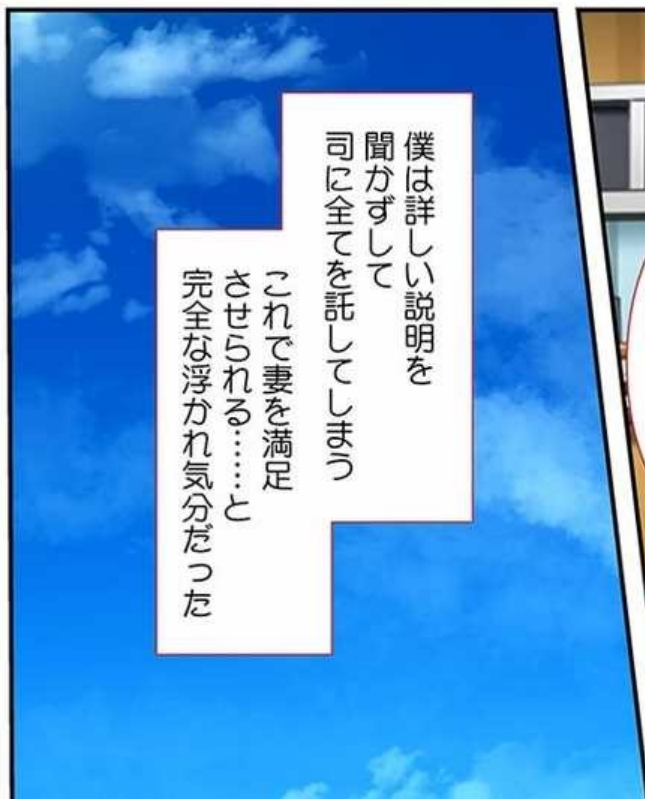
……つたく
わかったよ
そこまで言うなら
試してやる

ただ詳細は教えられねえぞ
当日その場でやるからこそ
効果を発揮するんだ

……？



これが僕と妻にとって
破滅の道への始まりに
なるとも知らずに



僕は詳しい説明を
聞かずして
司に全てを託してしまう

これで妻を満足
させられる……と
完全な浮かれ気分だった



あ…ああ
構わないっ！
宜しく頼むっ！



……いいえ
大丈夫よ
私のことは
気にしないで

やっぱり
その……
抵抗あるよな？



……ごめんな
佳代子



そんな妻を少しでも
喜ばせたい
だからこそ
何とかして
この状況を
脱したいのである

ピンポーン！



むしろ今まで
あなたの悩みに
気付けなくて……
本当に
ごめんなさい

妻はいつでも献身的に
尽くしてくれる
気遣いもでき
常に笑顔で僕を
和ませてくれる存在だ



は……はい……
えっと……
はじめまして

なせ、

妻の……
か……佳代子ですっ
いつも主人がお世話に
なっております



ふうん……あなたが
直太郎の奥さんか



いやあ悪い悪い
待たせちまったな





ま…マンネリ…？



…直太郎
お前たちは
“マンネリ”の
状態なのさ



え……？
あ…あのっ？

ちよつと失礼



新たな…
刺激を？

つまりそれを解消するには
“新たな刺激”を
与えてやればイイのさ

ああ
簡単に言えば
同じことを繰り返すうちに
新鮮味がなくなつち
まったんだ



ひゃぐつ！
んむむむうッ！

よおく見ておけよ
んッ！



んあ……
あんっ!

ほら奥さんも
もっと口開ける……

そうだ
んっ……

待て
何もしないって
約束だろう？

お前はそこで
じっくり眺めてりや
いいんだよ

ぐちゃ
ぐちゃ



は……？
えっえ……っ!?

ちょ……っ
な…何を……ッ

げっ



ぐうう……
そ…そんなあ
…ああッ

んあ……イイぞ
ねつとり舌を絡ませろ
俺の唾液たつぷり飲ませて
やるからなあ……

ぐちゃ
ぐちゃ



あ……あ
ひやうう……
や…やめれくらひや
んぶむっ

いいから
我慢しろって
これも全てあいつのため
なんだからさあ……

ぐちゃ
ぐちゃ



あ…あなたあつ!

さて
こんなもんかな



くっ…
ぐうう……

……勃起してる？

え……？

はっ



え？

ぶん

……これで終了だ
じゃあ
後は二人で楽しみな



ぶはあ……
はふううっ



はひうう
ふううう
ふううう……ッ
え……ええ
はあっはあっ

あ……あああ
か……佳代子
その大丈夫か……？



あ……
お……おいつ

……じゃあな

ぽたん



——あなた……っ

はっはみ

……っ！

ハズリっ



はあはあっ
佳代子……ッ！
佳代子お……ッ！
くうううッ！

あんっ
あんっ
あんううッ！



あはあんっ



凄いい……
とつても激しいのおツ！
硬くて……熱くてえッ！

あっ……ああっ
あなたっ！
あなたあっ！

あああ……
アソコが燃え上がり
そう……ッ！

な……何で……
こんなに違うのおツ！
あなたあ……

私の身体あ
おかしくなつちやつた
みたい……ッ！！



あああ……
イクっイクっ
うううう……ッ！！

あああ



ど……どうしたんだ
興奮が冷めやらない
体内から
どんどん湧き出て
くる……ッ！



はあはあ……
あ……あなたあ
気持ち良かったあ……



な……中に
いっぱい出てるう
あああッ



ひやううッ!?
はううう……ッ!

あああ佳代子おッ!
イッたはずなのに
治まらないんだ……ッ



つて……え……?!



もつと……
もつとしようッ!
くっ……
うううう……ッ!

そ……そんなッ!?
ひひやッ……
くひやああッ!

ダメえ……
わ……私これ以上されたら
おかしくなっちゃう
からあ……ッ!

いや……
もつとだッ!
尽きるまでもつと……
……ずつとッ!

ああああ
んあッ
ひやああッ!

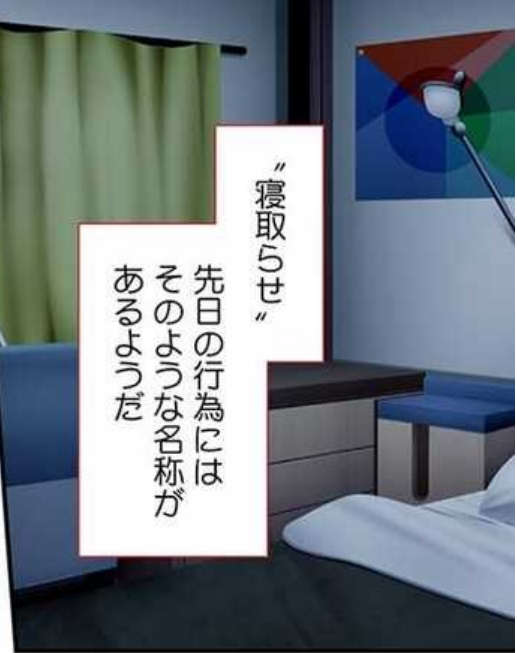


凄い……
こんな魅惑の行為が
あったなんて

事実…僕はあの時
狂おしいほどに
心が昂っていた…

その時に巻き起こる
負の感情が興奮へと
変換されるらしい

最愛の妻や彼女を
他人に差し出し



“寝取らせ”

先日の行為には
そのような名称が
あるようだ



すると同時に
あの喉が渴くような
生々しい光景を
もう一度味わいたいと
考えるようになった

しかし次第に
興奮度は薄らいでいく



その効果は靚面で
僕は毎晩のように
妻との夜を楽しんでいた



そうか
効果があった
みたいだな

ああ
その節は本当に
ありがとう



あれがきっかけで
関係を壊したく
ないから……

正直…俺は今でも
後悔しているんだ

が……先に言っておく
もうこれ以上は
止めた方が良く



それで…



いいか…この行為は
前回と同じじゃダメなんだ

はあ……
わかってないな



大丈夫だよ
むしろ感謝しても
しきれないくらいだ

だからまた……
その…頼むよ
な？



回を増すごとに
より内容は激しく
しなくちゃならない
言わば麻薬のような
もんなんだよ

本当に理解
しているのか？

つまり次はキスなんかじゃ
済まないってことだ
お前の目の前で
奥さんが犯されるん
だぜ……

辛くないのかよ？



けどそれが
もの凄く興奮するんだ…
僕も佳代子も

……奥さんも
本当にそれで
良いんだな？



辛いさ

心臓がズキズキ
と痛む……
想像するだけで
吐き気がするよ



わかったよ

はあ…
…つたく



もう次は遠慮しねえぞ

……ッ!?

は…はいっ

わ…私も…主人と
同じ気持ちですのでっ

それならこつちも
遠慮はしねえさ

正直…直太郎の奥さんは
超好みなんだよ

今度は骨の髄まで
味わってやるぜえ



ひや…ッ!
はううッ

ふふ……っ
ほらこつちを
向けて



もう知らねえぞ
俺は止まんねえからな

そんじや
お前の奥さん
好きに使わせて
もらうわ

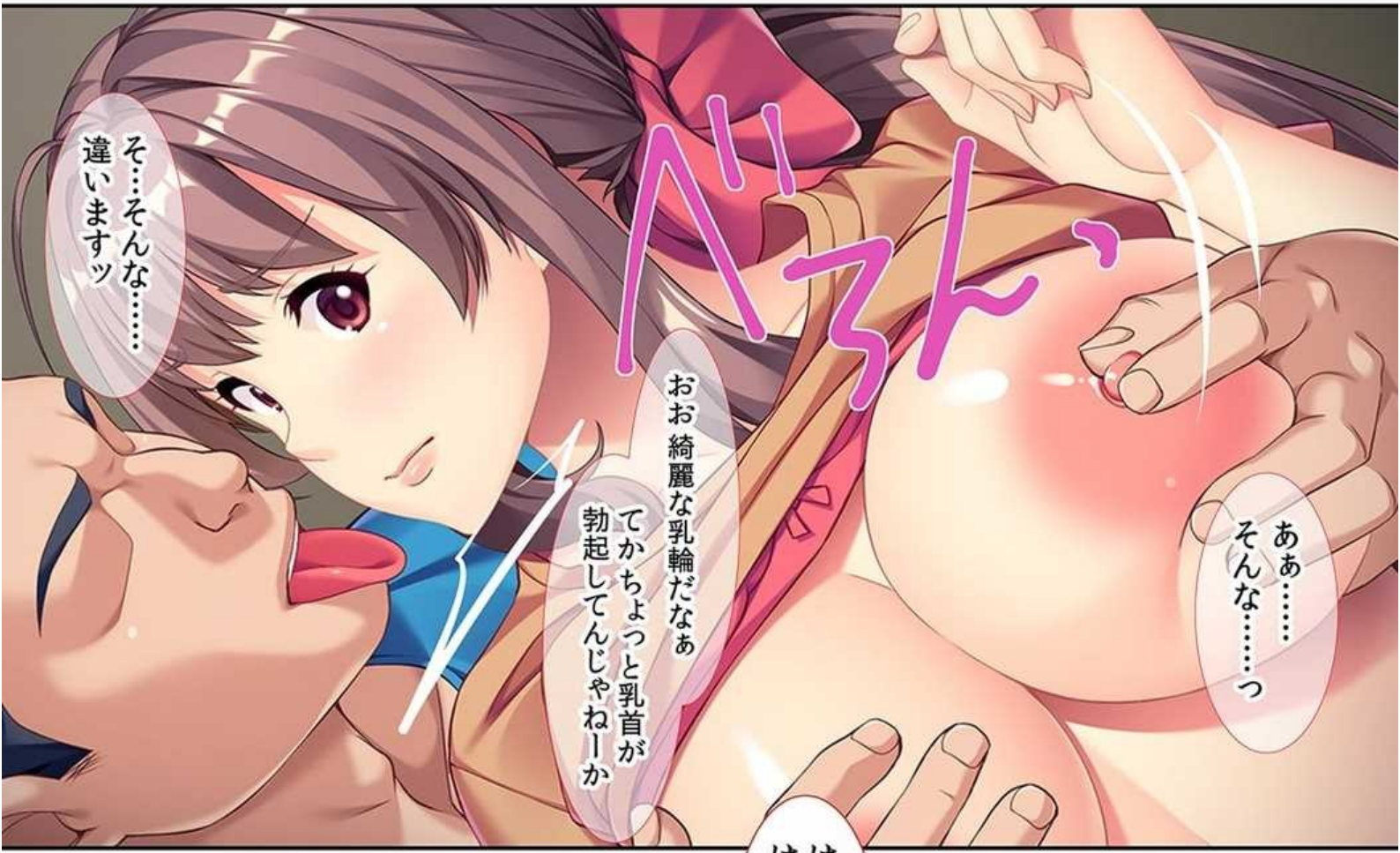


ひゃッ!?
そ…そこはあ

あんっ
ううう……ッ

くすぐったい
あんっあああッ

さてお次はっつ



ああ……
そんな……っ

ズズッ

おお綺麗な乳輪だなあ
てかちよつと乳首が
勃起してんじゃねーか

そ…そんな……
違いますッ

はあっはあっ
はあっ……

あああッ



これだ……
血液がグルグルと
忙しなく股間へと
集結していく感覚

どくんとどくんと

はっ……
はっはっはっはっ

“他人に脱がされた”
という付加価値が
こつも心を刺激するとは

熱く燃え滾る
発汗が喉の渇きが
止まらない



まったく
うるせえなあ

はっ

はっ

おっぱい
揉まないで……



んひゃっ!?

くりっ

やっ……あっ
ああ……



ふふふっ
お前の奥さん
見かけによらず
イイ反応じゃねーか

あ……ああ

びびっ

なあ……見てみるよ
直太郎のやつ
面食らってるぞ



ちゃっ

くふっ……
きゅひいいいッ!?



あんたがこんなに
卑猥な表情するの
かって驚いてるぜ

びびり

んぐううう……
ぎゅうう
ぐにゅうう……ッ!?

も……もう無理いッ!

こ……こんなの
おかしくなるっ
壊れちゃうのお

びびっ



このままお前の奥さん
ぶち犯してやつから

おいおい
まだ前戯が終わった
だけだろーが

直太郎
寢室に案内しろ



佳代子……っ

……あ……あなたあ
私い……おかしくつ
なっちゃったあ……

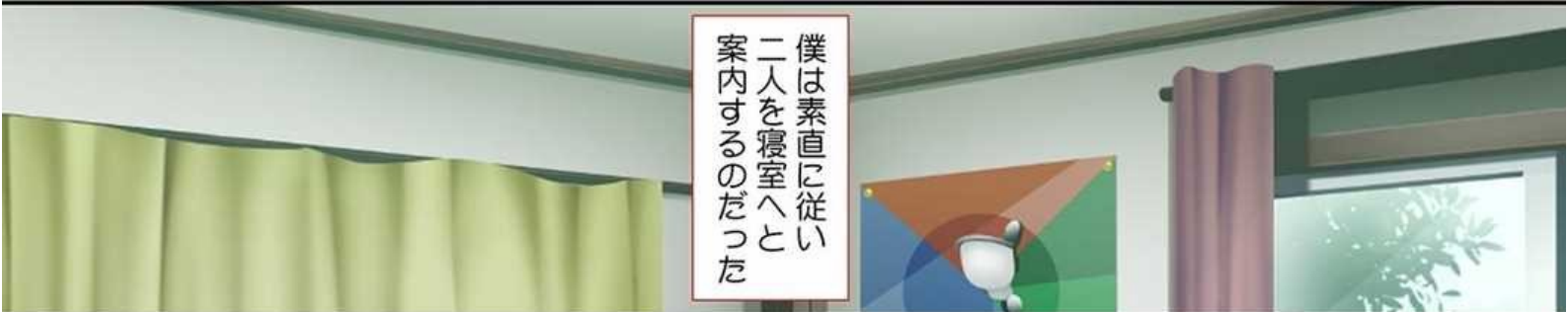
あ……あなた
あなたあッ



あ……ああ
こっちだよ……

妻を貸し出す
許可を出したのは
他ならぬ僕だ

司が満足するまで
行為は続く……



僕は素直に従い
二人を寢室へと
案内するのだった



さあて
ここからが
本番だ
そうだよなあ
直太郎？

……っ



きゃうっ!?



ほらケツ突き出せ
ハメてやつからよお

ひ…ひい
む…無理い
入らないですっ！

こんなの
壊れちゃう
から……っ

なら試して
みようぜ
入るまで
何度でも……な



あなたあッ！
も…もう無理よお
止めましょう
私…怖いっ！

私が私じゃなくなって
しまう気がしてッ

ごめんなさいっ
でも…こんなこと
しなくたって……
私あなたを愛して
いるわッ！

だから……
もう



ちっ…うるせえなあ
今さら止めらん
ねーんだよ

あああ……
やあッ！

あ…あなたあッ！

佳代子……っ



このままじゃ私……この人に犯されちゃうッ!

た…助けてねえ……っ

……っ

妻の想いは痛いほどわかる

二人の心が繋がってればそれで良い……それは僕も同じ気持ちだった

だが…もうこの局面で覆すのは不可能である



司も僕も

……ごめん佳代子

あああ……そ…そんなそんなあ……ッ

完全にリミッターが外れてしまったのだから…



あつダメ……ダメっだっ……おつ…おおおおお……ッ!

くっ……こりゃキツツいな上手くねじ込まねーと

お……っお……っお……ッ!

ダメえ……いやあっ止めてえええッ!



突かれているのは
妻なのにまるで僕が
犯されている気分だ

あつ
あああつ

あああ……
佳代子お
佳代子お……ッ!

あ……あなたあ……ッ!

あああ……
あなたあつ
ど……どうしてえッ

そ……そんなに硬く
しているのおッ!



ま……すぐに
慣らしてやるよ
俺のサイズになあ

あああ……
ダメええつ



ひひっ
お前の旦那
随分と小せえモノを
ぶら下げてるんだなあ

確かにそれじゃあ
痛いはずだぜ



ぐううう……
お腹……破け
ちやうううッ!

ひぎひぎッ!
ひひひ……ッ

そらそらそらッ!
スピードを
上げてくぜえ

しっかり覚えろ
この刺激をよおッ!

いやああッ!
んああつ
あんつあんつ
あああッ!

ひうっ!?!
うひひひッ!



お…どうやら
絶頂のスイツチが
入っちゃったようだなあ

ぶる
ぶる

…な…何これえ
何かが込み上げてくるう
熱くてブルブルしてえ
や…やああ…ツ

大丈夫だって
むしろ一度覚えたら
ヤミツキになるぞお

今まで妻は一度も
中イキを迎えた
経験がなかった

僕の拙いテクニクでは
決して届かなかった高みへと
二人は突き進もうとしていた



とんでもねえやつ
与えてやるよ
俺色に染めて
やつからなあツ

あああ…ツ
ダメえ
そつちに連れて
いけないでえ

何かくるつ
キちやうからあ
あああツ

あなたああ
こんなの
いやああつ

佳代子お…
くそおつ
くそおお



いいから早く
イツちまえ…
そらつ!

ぶる
ぶる

あつ
あああああ
あああつああ
あ~~~~
~~~~ツツ!!

何これえっ!?  
ダメえ…  
頭が真つ白おツ!

ぎもぢイイい…ツ



ははっマジで  
イツちまいやがった  
二人とも素直に  
イけたご褒美だ  
受け取れっ!

んおっ!?  
おおおお  
中出しされでる……ッ!?

あっあっんおおっ  
おおおおお……ッ!



ゴムを外してると  
勘違いしてんのか?

望みだったら  
次は生ハメ中出し  
してやっても  
イイんだけどよお……  
なあ  
直太朗?

……っ!?  
それは……っ



ふう出た出た  
いや俺も久しぶりに  
我を忘れて  
興奮しちゃったぜ

あ……あ……  
す……凄いい  
こんなにいっぱい  
出ていたの……ッ!  
ほ……本気で孕ませる  
気だったのね

何驚いてんだよ  
ふっーこれくらい  
出すもんだろーが

……いや  
そうか  
旦那の射精量は  
これっぽっち  
だもんな

……オスとして  
何もかもが劣っていると  
思い知らされる



まるで勝ち目がない

快感の波が引くとともに惨めな気持ちが入み上げてきた

はっ

つつーわけでこれからは好きなように行動させてもらうからなあ

俺がシたくなったらその身体……いつでも貸してくれよ

はっ

はっ

これは……



いけない一線を越えてしまった気がする

あ……あなたご……ごめんなさい……私っ

……っ



ピシッ

おう突然悪いな

ちよつと仕事中にムラムラしちゃったからよお

奥さん貸してくんねーか

……司

……いや佳代子は今……



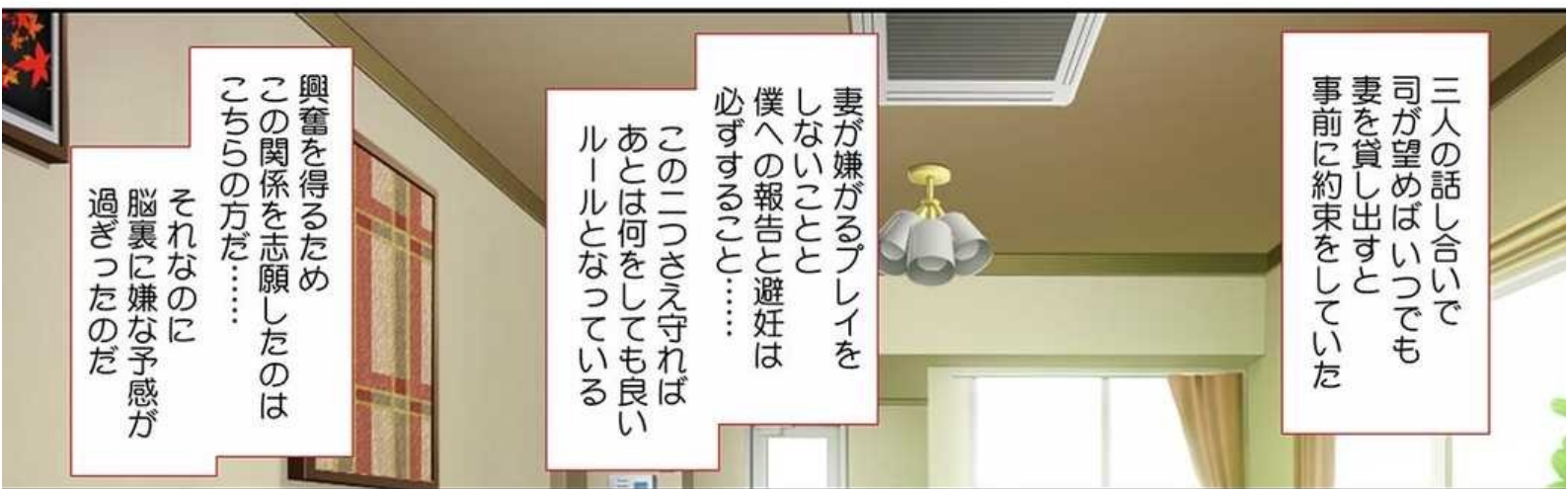
うん？  
いないのか？

あ…いや……

……ちよつと  
待っててくれ

わりいなさつと  
終わらせるからよお

司のやつ  
このじつは  
毎日じゃないか……



三人の話し合いで  
司が望めばいつでも  
妻を貸し出すと  
事前に約束をしていた

妻が嫌がるプレイを  
しないことと  
僕への報告と避妊は  
必ずすること……

この二つさえ守れば  
あとは何をしても良い  
ルールとなっている

興奮を得るため  
この関係を志願したのは  
こちらの方だ……

それなのに  
脳裏に嫌な予感が  
過ぎったのだ



…あ

あなた……

……わかりました

……司さん  
ですか？



あああつ黒くて  
硬くてビクビクしてて

し…信じられ  
ないわ……

ふふっ  
こんなんで  
驚いてもらっちゃ  
困るなあ

興奮すれば  
もつともつと  
大きくなるんだぜ



こ…こんなに大きいのが  
私の中に入ってたの……？

びびるん

あああ……  
す…凄いつ



ああ…言つたらう？  
汚れててクサイから  
綺麗に舐め取つて  
貰うんだよ

ん……んん……ッ  
ひうッ!!

んっ……



ほ…本当に……  
舐めなきゃ  
ダメなの？

コレとてもクサイわ  
汗のニオイが  
纏わりついてて

クツサああいい……ッ！



おいおい

あああ……  
佳代子おッ



しょ…しょっぱいいッ  
舌あ……  
ビリビリしますうッ

イイねえ  
その表情  
ゾクゾクするぜ

んんん

うううう  
……ッ！

二人して  
ひでえ顔しやがって

これじゃあまるで  
俺が悪いことしている  
みたいじゃねえか

ほら…ずっと  
同じと舐めてても  
つまんねーだろ

そうだな……  
次は口で頬張って  
貰おうか

お…おいつ?!  
さすがに  
それは……ッ!

ああ?  
何言ってるんだよ  
直太郎

俺は  
お前が興奮できるように  
指示しているんだぜ?

……あ

……あなた

あ……あ……  
こ……これは  
違うんだ……ッ

大丈夫……  
大丈夫よあなた  
私……頑張る  
頑張るから……ッ

よおし  
イイぞ

そのまま唇と舌で  
揉みこむように  
甘噛みするんだ

くっ……  
ううう

ふ……ふああい……ッ



おおお……  
こりやいいぜ  
たまんねえなあ

本当に初めてなのか？  
才能あるよお前

……そ……そんなころ  
言われれもお……

う……嬉しくないれすう

イイ歳コいた女が  
間抜け面で俺のブツを  
フエラしてる

……最高じゃねえか

くくくつ  
いいぜえ  
その調子だ

じゃっ

じゅる



だったら  
もつと刺激を  
与えるんだな  
その間抜け面で  
俺を興奮させて  
みろよ

くくくくつ



くうう……つ  
は……早くう  
終わりにしたいん  
ですうツ！

こ……こんなのお  
ずつと続けたく  
ないのお……ツ

じゃっ



……ツ！?



くああつ  
すつげツ

吸われる……  
引つ張られるううツ！  
んあああツ

びゅん  
じゃっ



ほら直太郎も  
見てみろよ

くっ……  
うううう……ッ



クサあいいッ!  
酷いわ……  
こんなの嫌あ  
あああ……ッ

はははっ  
随分と様変わり  
したなあ  
俺の精液で  
ずぶ濡れに  
なつてら



……え?



まあまあ  
そんなに睨み  
付けるなって

何だかんだ言っ  
て“二人とも”  
興奮してたん  
だからよお



ち……違うのッ!  
わ……私は何も……ッ  
きつと何かの  
間違いだからッ

まさか……  
この状況で  
佳代子も興奮  
していたのか?

冗談だろ……



ん……ッ?  
ひううッ

お……おい……  
佳代子?

まさかお前も?



ひひひっ  
あー……ヤバいわ  
また興奮して  
きちまったぜ

予定変更このまま  
ぶち犯してやんよ

さあてたつぷり  
楽しんでやろうかな  
くくくっ

あ……ああ……

お……おい司ッ!  
妻はもう疲れて  
いるんだ……

今日はもう  
やめてくれっ!



ああ?  
そんなのどーだって  
イイんだよ

言っただろ?

ムラムラ  
しちまったって

正直目の前を  
ウロつかれると  
萎えるんだよなあ

そうだ  
ならお前にも  
役目を与えて  
やるよ



いわゆる  
「ハメ撮り」って  
やつだ

記念になるぜえ

これがあれば  
大事な奥さんが  
寝取られてる様子を

何度でも楽しむ  
ことができるぞ

……ッ!?



嫌なのおっ!!

と…撮らないでえッ  
こんなにあつがしいのが  
ずつと記録に残っちゃう  
だなんて……



ひひひっほら…  
しっかり撮れよ

ああ……  
ダメだ

僕が向けた  
カメラの前で  
妻が乱れゆく姿

それも他人の男に  
犯されて…

あ……ああ  
やああ……っ

あああ……  
あなたあ



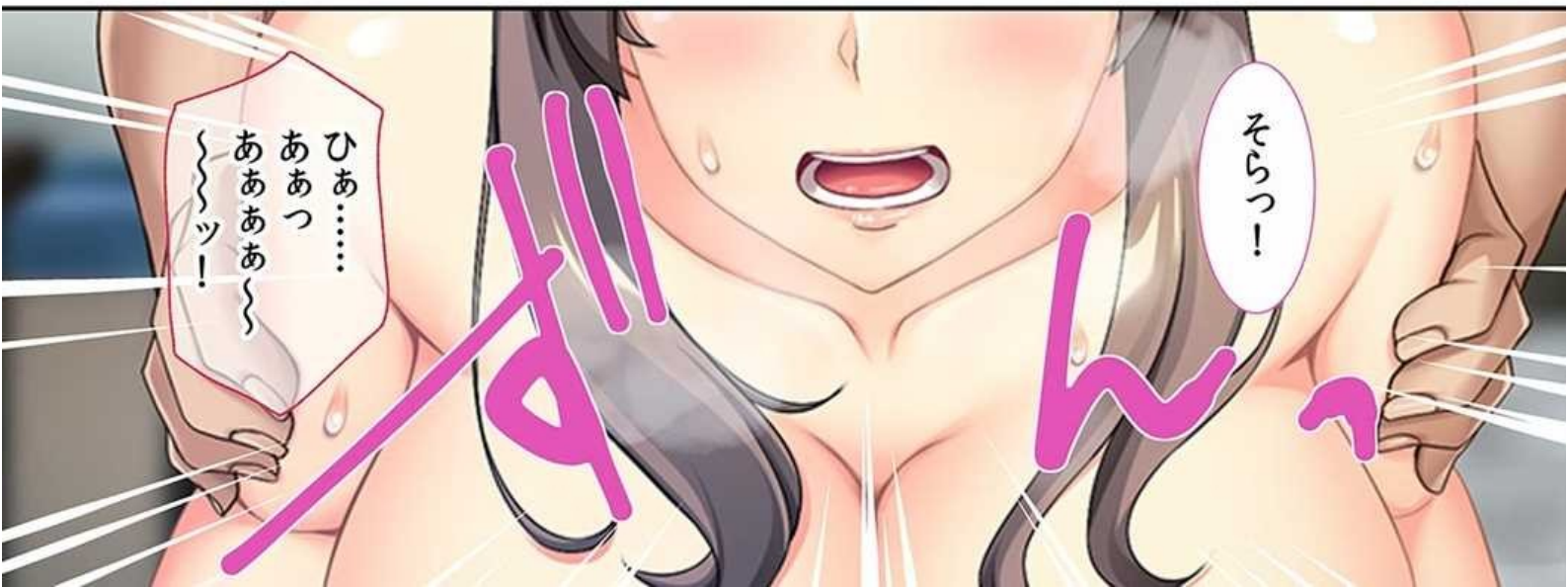
ひひひっ  
今のこいつに  
何を言っても無駄さ

ほら見てみるよ  
興奮で我を忘れ  
ちまつてるだろう  
からなあ

そ…そんな  
あなたあ……ッ

観念しなつて  
俺たちも

あいつのために  
ひと肌脱いで  
やろうぜ……



そらっ!

ひあ……  
ああつ  
あああ……  
~~~~ッ!




なあお前がどれだけ
感じているか……

正直な気持ちを
あいつに教えてやれよ

え……ッ!?

やっ……
あっ……
うっ……



ぐうう……
ううううッ

くくくッ



きつとあいつのじゃ
満足できなく
なっちゃうだろうなあ

抜いた後は
ぽっかり穴が
開くぞお?



ほら……

素直に言えよ
本当はもう気持ち良く
なってるんだろ?
やらしい声
漏れちまつてるぜ

あううッ
ち……違いますっ

これはあ……
そのっ
あのお……ッ

んんんううッ

……なら嘘だってイイ



せつかく
あいつのためにビデオ撮影
してんだからよお……

興奮するため
一芝居打ってくれよ

ひっ……

イイイイイ
いい……ッ!

は……激しっ
さつきよりも
速くてえ……

んくうううッ!

こ……壊れちゃうううッ!
なのにい……何でっ
何でえええ……ッ!!

佳代子……
お前



ち…違うのお
あなたあつ!

これは……

は、は、

んああつ
違ってえ

おいおい奥さん
その反応はちげーぜ

ここは
“感じています”
って答えねーと

…ッ!



あ…あなた……
そ…そうなの……?

私が……
この人に犯されて
感じていたら……

こ…興奮……
する……?



旦那は寝取られて
興奮するんだぜ?
な…嘘でもイイから
言ってやんなよ

く、



私……本当は
少し…ほんの
少しだけど……

か…感じて
いますう……ッ!

……ッ!
!?

りる、



い…いや……
それは……



あなたを好きな気持ちには
変わらないのっ!

はあはあ……
あなたあ!

ずん



私い……
この人に乱暴
されてるのにい

無茶苦茶に
犯されているのにい

すんごく濡れて
しまつて……
興奮してえ

ど……どうしてなのおッ

ばん



でも
でもお……っ

この人ののは……っ!
あなたのためより
大きくてえ硬くてえ……

あああッ
頭がぐるぐるしてきてえ
よくわからないのおッ

いいぞお……
ほらほらあつ!
もつと伝えてやれッ!

ひっぎゅんひゅん……ッ!

とちゅん



そ…それええ
膣奥をぶちゆんつ
ぶちゆんつて
潰されるのお

気持ち良すぎなのおっ！
お腹が痺れちゃうううツ

あうっ
うんんんんっ！

おらっおらっ
おらっおらっ！

孕み袋はこうやって
扱うんだよおっ！

ひひひっ
このまま中に
出してやるっ！

ぶばん



ゴムをぶち破って
子宮に注ぎ込んで
やるからなあツ

や…破けちゃうううう
ガバガバになつちゃう
のお……ツ！

ああああっ
あんっ！

やつ……やめ……て
あああつああ……ツ

ああああ……
ダメええ……
赤ちゃんできちゃううう

びん

他人の子供お
孕んじやイヤなのお

あつあつ
あつあつ
ああああ……

何か…込み上げて
くるう……ツ！



あああ……
佳代子おツ

たつぷり味わえ……
そらっ!

ダメっダメえ……っ!

目の前にいる妻が
どこか遠くへ
連れていかれるような
感覚だった

んぐううう……ッ!?



んおあああツ
イクッ……
イクイクッ!

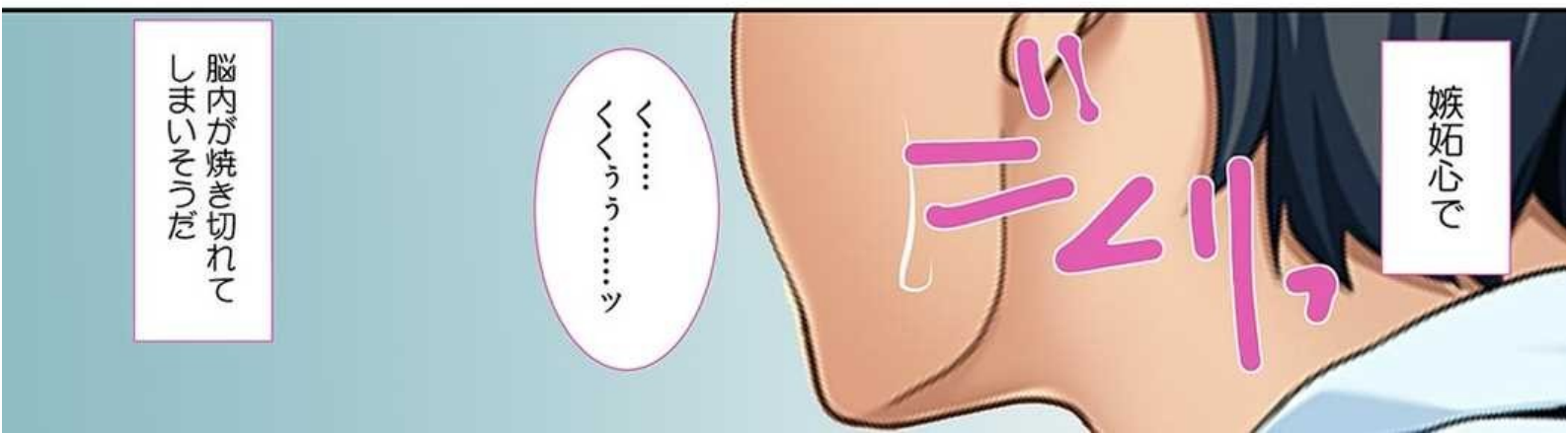
んううう……ッ
あああああツ
~~~~ッ!

何か出ちやうううう  
ひあああああ~~~~ッツ!

おおおお……ッ  
熱いお腹の中  
焼けちやうのお……ッ

気持ちイイ……  
こんなの初めてえツ

おおおお……ッ  
すっげえ  
搾り取られるう  
なんだコレえ  
やつべえ……ッ



嫉妬心で

く……  
くくうう……ッ

脳内が焼き切れて  
しまいそうだ

司から一枚の  
ディスクが  
送られてきた

………ッ!?

『あっ……ああっ  
司さんっ!  
気持ちイイ……ッ』

気持ちイイの  
お……ッ♪』

『はあ……はあ  
司さん……  
あああッ』

……なんだよ  
これっ

『おいおい  
どうしたあ?』

今日は随分と激しく  
求めてくるじゃねーか』

ぽっ

REC

どうやら隠し撮りらしく  
妻はカメラの存在に  
気付いていない様子だった

『んあ……そ  
……それはあ……んんっ』

『ひひっもしかして  
あいつの前では  
遠慮してたのか?』

今日は二人きりだから』

『そ……それ以上  
言わないでえ』

『くくく……  
そっちがその気なら  
俺も本気で相手  
しないとなあ』

ぽんちゅ

『んやあ  
ああ……ッ!  
そ……それええ』

しゅん

『硬いので  
ごちゅごちゅ  
突かれるのおっ  
好き……』

あああアッ……  
きやんっ  
ひやうう  
うんッ!』



REC  
『んあああつ  
司さあん……ッ！  
好きっ  
これえ……好きいいッ！』

『あのよりも  
ずっとお……ッ！  
大好きなおッ』

佳代子お……  
佳代子おッ

『ああ俺もだぜ……  
佳代子  
俺もお前が大好きに  
なっちまった  
これからもたっぷりと  
愛し合おうな……』

ううう……ッ

佳代子が本気で  
司とセックスしてるっ  
こんなに乱れて  
気持ち良さそうに

ははは



REC  
『あああん……  
嬉しいいい好きいい  
大好きい……ッ！  
私も愛しているのお』

あぁあ……  
ち……違うよなあッ!!  
佳代子は司とのセックスが  
好きただけだよなあ？

『あああ司さあん……♪  
もっと激しくしてえ  
私の中あぐちやくちやに  
犯して欲しいのお』

やめる……  
もう十分だっ！

佳代子お  
やめてくれえっ！

ぐちゃん



REC  
『……またっ絶頂が  
キチャいそう……  
司さあん……私  
イツチャいそう  
なのお……』

『んくく……ッ』

『ふふふっイイぜえ  
俺だけに見せてくれよ  
お前の本気のイキ顔  
下品な表情  
期待してるからなあ』

びび

『もっと下品に喘げ  
ほらっ！』

『んおおおっ  
ごおおっ!』

お腹あ……  
破けちやうううッ！』

『ブチブチいつてるうう  
痛気持ちイイいっ  
何これえええ〜ッ!』

『おおおお……  
イグッ!  
これイグうッ!!』

あーっ  
あーっ

『ガチ勃起ペロスで  
腹パンされてイグッ!  
子宮潰されて  
使えなくなっちゃうう

んおおお〜……ッ!』

『んぐっふう  
うう〜ッ  
穴が押し広げられてえ  
ガバガバになっちゃうう

イクイク  
イグううう  
んぎゆうっ  
ううう〜ッ!!』

『きひひひっ  
イイねえその顔っ  
ほらよご褒美だ』

びく  
びく

『んおおおおお……っ!!  
ギモチイイい……っ!』

初めて目にする  
本物のイキ顔だ

『司さん  
私い……  
イツてますうう  
すんごいの  
キちゃってるううッ』

『はっあああ  
ああ〜っ!』

『司さんのお  
何でこんなに  
凄いのお……ッ!』

中がミチミチに  
満たされてるう  
破裂しちやいそうッ』



妻は僕の手を離れ  
司色に染められていく

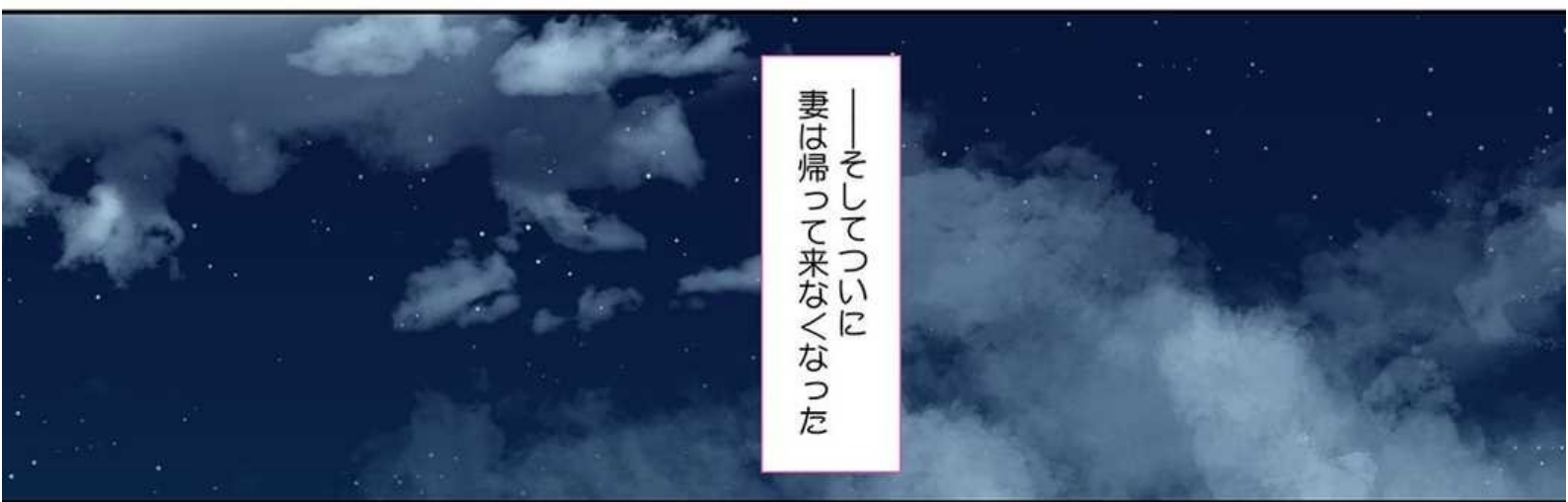
感覚も生殖器の形も  
口調までも...

ああ……佳代子  
そんな……



『ああん……  
そんな  
でも嬉しい……♪』

『そりゃあ佳代子のイキ顔が  
エロ過ぎるからだよ  
我慢できなかつたわ』



——そしてついに  
妻は帰って来なくなった



……ぐっ  
うううう……ッ

妻は間違いなく  
司と一緒にいるはずだ  
早く迎えに行かないと  
本当に取り返し  
つかない事態に  
陥ってしまう

妻が家を出て行ってから  
一週間が経過していた



『寝室でお前の奥さんと一緒に待ってるぜ』

『鍵は開いてるから中に入ってイイぞ』



『おお直太郎か つたく…ようやくかよ』

ピンポン



ぐっ……  
くそお……  
佳代子おっ!



ホント欲情スイッチが入るとどうしようもねえなあ

くくくつ  
イッたばかりなのに  
まだ求めてくんのかよ

ぬんや



司くうん……

……あああつ  
これえ……  
気持ちイイわあ……

あんつ  
あああッ♪

司くうん……  
キスうもつと  
しましよお

離しちや  
やあんなのお

ちやく



……え

ああんつ  
イイでしよおッ♪  
司くんとおキスう  
大好きなんですもの

ゆき

お…おいつ!  
佳代子っ!





こんなの嘘だっ！

佳代子は  
もつと清楚で優しくて  
僕を常に気遣ってくれて…

ねえ……  
そういうの  
もういいから

あなたは私が  
司くんのモノになる方が  
嬉しいんでしょう？

現に今も  
アソコを大きく  
させているわ

私たちが愛し合っている  
ところを見て  
興奮したのでしょうか？

ぐゅっ



んふっ……  
このままで  
いいじゃない

私も

ぐゅっ



司さんも



あなたも



みんな気持ち  
良くなれて  
みんな幸せ

ね…司さん



ああ……  
や…やめてくれえッ！  
僕はもういいんだっ！

君が戻ってきて  
さえくれれば  
それで……

んぐゅっ

ぐゅっ



もおいしい加減に  
してよおっ！  
あなたは良くても  
私が無理なのっ！

こんな快感  
知ってしまったら  
元に戻るはずが  
ないじゃないっ！

無理無理っ  
絶対無理っ！

ぐゅっ



佳代子ごめん……  
僕が間違っていたっ！  
身勝手な欲望で  
無茶苦茶にしてみました



んだよ  
イイとこなのに  
邪魔すんのかあ？

ああもう十分だっ！  
離れてくれっ！  
もう……佳代子には  
触れないでくれっ！



もう止めてくれっ！



司よりも……  
絶対にだっ！

……あるさ  
僕は……佳代子を  
愛しているっ！



ひやははははっ

こんなこと  
もうしないから  
だからもう一度  
やり直してくれないかっ

おいおい  
今さら何なんだよ？  
こいつは俺に  
靡いてたんだぞ

お前には  
俺に勝る要素なんて  
あるのか？



佳代子……ごめん  
いくら謝っても  
足りないと思う  
だから一生かけて  
償いたい

頼りないかも  
しれないけど

僕は誰よりも  
佳代子を愛して  
いるから……ッ！



佳代子おッ!

すまない……  
本当にゴメンっ!



……ええ

だってあなたは……  
私がいなかったら  
生きていけなさそう  
なんですよ……

……佳代子  
許してくれるのか?

あなたの気持ち  
伝わったから……



あなた……っ  
もう顔を上げて



……もう二度と奥さんを  
他人に貸し出そうと  
するんじゃないぞ

わかったか?

あ……ああ……  
ありがとう  
司……ッ



……ったく  
ホント世話の焼ける  
二人だけ

荒療治だとは  
伝えてたけどよお

ここまでギリギリに  
なるとは思わなかったぜ

ふっ



……はい  
今日も夜まで  
帰ってきません

ですから……  
今日も好きだけ  
私を犯して下さい……

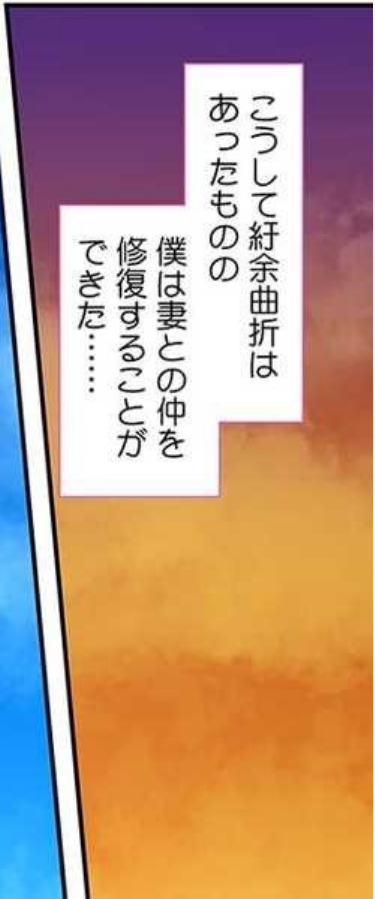


あ……もしもし  
司さんですか?

はい……  
あの人は仕事に  
出かけました

ピッ

くす



こうして紆余曲折は  
あったものの

僕は妻との仲を  
修復することが  
できた……

妻を巨○の親友に差し出しました  
～後悔だらけのNTR記録～【フルカラー】

---

著者 Red.D

©アパタイト

発行 カゲキヤ出版

本書の無断転載・複製等は著作権法上禁止されております。